

2019（令和元）年度
大阪府内地域連携プラットフォーム
事業報告
(2019年4月～2020年3月)

2020（令和2）年 3月

課題1 大学と高校の有機的な接続・連携の強化

| | 会議 | 行事 |
|-----|--|--|
| 4月 | | 大学コンソーシアム大阪 HP オープンキャンパス情報ページ開示（常時掲載） |
| 7月 | 第1回部会（19日） ・2019年度事業について ・中期計画について ・大阪府内地域連携PFの動向について ・部会設置要綱の確認 | |
| 9月 | | 共通大学案内リーフレット HP 掲載 |
| 10月 | 第1回幹事会（2日） ・高大連携フォーラムについて ・幹事会構成について ・今後の方針について | |
| 12月 | 第2回部会（4日） ・2019年度事業報告 ・中期計画について ・次年度の事業計画について | |
| 1月 | | 共通大学案内リーフレット（改訂版）作成 |
| 2月 | | 高大連携フォーラム 開催（29日）※中止 |

（取組1）＜高大連携・接続の検討＞

【高大連携フォーラム】

事業概要・実施状況：https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/koudai_st/forum/

- ・これまで3年間にわたり、大学入試改革をテーマに「高大連携・接続勉強会」や「フォーラム」を開催してきたが、その総括として2020年2月にフォーラムを予定していたところ、新型コロナウイルス感染症の拡大により開催を次年度に延期することが決定した。

- ・テーマ：アドミッションポリシーから見る本来の入試のあるべき姿とは～実りある大学入試改革に向けて～
- ・日時：2020年2月29日（土）14：00～17：30
- ・基調講演：川上 浩良 氏（公立大学法人首都大学東京 学長補佐、都市環境学部 教授）
- ・パネルディスカッション：
 - ・パネリスト：
 - 川上 浩良 氏（上掲）
 - 池田 千恵子 氏（大阪成蹊大学 産官学連携センター センター長、教育研究支援部 部長、マネジメント学部 准教授）
 - 品川 哲彦 氏（関西大学 地域連携・高大連携センター センター長 文学部 教授）
 - ・ファシリテーター：
 - 大澤 茂男 氏（大阪青山大学 副学長 健康科学部 学部長・教授）

(取組2) <情報発信>

【プラットフォーム形成大学 オープンキャンパス 情報提供】

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/high/oc/>

- ・スマートフォンの普及に伴い、ホームページ全体のスマートフォンによるアクセス数が60%を超えていることから、専用ページの新設など適宜改修を行い、各教育委員会を通じて高等学校への周知を図っている。
- ・9月に私立大学等改革総合支援事業（タイプ3）申請にかかる取組とも連動して「共通大学案内リーフレット」を作成した。
- ・各大学の案内や上記ホームページについて触れ、各大学での高校訪問時の案内等を目的に活用してもらう内容としている。
- ・1月には39大学掲載の内容に更新し、プラットフォーム形成大学、大阪府教育委員会や大阪市教育委員会などの各教育委員会を通じて高校生、保護者に広く情報が行き渡るよう活用していく。



共通大学案内リーフレット



大学コンソーシアム大阪
オープンキャンパス情報提供ページ

課題2 単位互換プログラムの充実

| | 会議 | 行事 |
|-----|---|-----------------------------|
| 4月 | | 前期 単位互換センター科目開講 |
| 5月 | 第1回推進委員会・単位互換実務委員会合同会議 (23日) ・事業進捗報告 ・中期計画に基づく課題の検討 | |
| 7月 | 第1回部会(11日) ・2019年度事業について ・中期計画について ・大阪府地域連携PFの動向について ・部会設置要綱の確認 | |
| 8月 | | 後期科目 追加出願開始(28日) |
| 11月 | 第2回推進委員会・単位互換実務委員会合同会議 (1日) ・事業進捗報告 ・次年度事業の検討 ・中期計画に基づく課題の検討 | |
| 12月 | 2020年度 単位互換事業説明会(3日) | |
| 1月 | 第2回部会(20日) ・2019年度事業報告について ・中期計画について ・次年度の方向性について ・部会設置要綱の確認 | |
| 3月 | | 2020年度 単位互換科目 出願開始 (23日) |

(取組1) <単位互換の充実>

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/tg/>

<<実績>> ※センター、オンキャンパス併せて延べ810名(前年593名・前年比136.5%)

| 科目 | | 2018年度 | 2019年度 | 前年比 |
|---------|-------|--------|--------|--------------|
| センター | 科目数 | 11 | 10 | -1 |
| | 学生出願数 | 431 | 554 | +123(128.5%) |
| | 出願大学数 | 20 | 16 | -4 |
| オンキャンパス | 科目数 | 359 | 343 | -16 |
| | 学生出願数 | 162 | 256 | +94(158.0%) |
| | 出願大学数 | 14 | 14 | 0 |

【センター科目】

- ・科目数は昨年から1科目(情報セキュリティ論)減じ、10科目開講した。
- ・出願者数は昨年の431名から554名と大幅増。要因として従来の紙による出願方式に加え、WEB上で出願が完結する方式を採用することで、大学のみならず学生にとっても事務手続きの負担が減じたことが挙げられる。また下記のとおりキャンパスポート大阪の教室を一部拡張し、後期科目より定員数を拡大できたことも出願増加の要因と考えられる。

課題3 インターンシップの更なる充実と独自プログラムの開発

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/intern/>

| | 会議 | 行事 |
|-----|---|--|
| 5月 | 第1回推進委員・コーディネーター合同会議（10日） ・推進委員長・副委員長の選出について ・企業・団体エントリー状況報告 ・プロジェクト型インターンシップについて ・面接、事前・事後研修について ・部会設置要綱の確認 | 学生向け説明会（15日・18日） ・プログラム概要について ・出願～実習のスケジュールについて 学生出願期間（15日～31日） |
| 6月 | | 面接・選考（9日） 於：キャンパスポート大阪等 事前研修（30日） 於：大阪学院大学 |
| 7月 | 第1回部会（23日） ・2019年度事業について ・中期計画について ・大阪府内地域連携PFの動向について ・部会設置要綱の確認 | |
| 8月 | | 実習期間（～9月中旬まで） |
| 9月 | 第2回推進委員・コーディネーター合同会議（10日） ・2019年度実施状況について ・事後研修の詳細について ・1、2年生対象のプログラムについて | 2019年度プロジェクト型インターンシップ成果発表会（2日） 事後研修（29日） （兼 インターンシップ・プログラム報告会・交流会） |
| 11月 | 第3回推進委員・コーディネーター合同会議（29日） ・2019年度事業報告 ・2020年度事業方針について ・中期計画の進捗について | |
| 1月 | 第2回部会（16日） ・2019年度事業報告 ・中期計画について ・2020年度の事業計画について ・部会の改組について | |
| 3月 | | 2020年度事業説明会（23日） ・実務スケジュール、フローについて ・学生募集ガイドについて |

《実績》 ※【 】はプロジェクト型

| | 2018年度 | 2019年度 | 前年比 |
|-----------------|-------------|--------------|-------------|
| 出願大学数 | 27 | 23 | -4 |
| 出願学生数 | 161【うちPJ型2】 | 228【うちPJ型12】 | +67（141.6%） |
| 参加学生数 | 138【うちPJ型2】 | 180【うちPJ型9】 | +42（130.4%） |
| エントリー 企業・団体数 | 111 | 105（うち推薦団体3） | -6 |
| 受入企業・団体数 | 73 | 81 | +8（111.0%） |

（取組1）＜就業体験型インターンシップ＞

- ・昨年の受入先に加え、大阪府商工労働部の実施する「若者・大阪企業未来応援事業」への参加企業や、大阪府公民戦略連携デスク、大阪市経済戦略局、市民局より関係企業への周知協力を得て受入先を確保

し、実施した。

- ・推薦枠として従来の近畿運輸局、豊中市に加え、神戸市からも依頼があり、プラットフォーム形成大学を通じて学生募集を行った。
- ・エントリー企業数は昨年の111から6減じ、105となった。
- ・一方、出願学生数、参加学生数ともに昨年を大きく上回る結果となった。
- ・低学年から大阪の中小企業の魅力に触れ、インターンシップや就職活動の際の選択肢の幅を広げる試みとして大阪商工会議所と連携したプログラム開発に新たに着手した。(2020年度に試行予定)

(取組2) <プロジェクト型インターンシップ>

- ・大阪市西淀川区と連携し、区内製造業の魅力発信プロジェクトを実施した。
- ・同区の製造業等のPRイベント「ものづくりまつり」が毎年8月に開催されており、本プロジェクトはインターンシップ実習生が来年のまつりの企画を「行政の視点」で考え、提案することを目的として行った。

テーマ： 求む！創造型ウルトラ公務員候補！西淀川区役所留学！2019。

活動場所：大阪市西淀川区役所、区内企業（企業見学）

スケジュール：

| 回 | 日時 | テーマ | 内容 |
|----|---------------------|-----------|--|
| 1 | 8/13 (火) | オリエンテーション | ・西淀川区からミッション発表 ・西淀川行政マンの心構え講座 ・目標設定 ・スケジュール |
| 2 | 8/18 (日) | フィールドワーク① | ・「西淀川ものづくりまつり2019」参加 |
| 3 | 8/19 (月) | 作戦会議① | ・「西淀川ものづくりまつり2019」の振り返り ・企業訪問準備（見学視点・インタビュー内容） |
| 4 | 8/20 (火) ～23 (金) | フィールドワーク② | ・企業訪問 ・インタビュー（経営者・社員） |
| 5 | 8/26 (月) | 作戦会議② | ・企業訪問の振り返り ・企画チーム分け ・企画コンセプトの決定 |
| 6 | 8/27 (火) | 企画会議① | ・企画提案内容の考察 |
| 7 | 8/28 (水) | 中間報告会 | ・企画骨子のプレゼンテーション ・企画へのフィードバック |
| 8 | 8/29 (木) | 企画会議② | ・企画修正 ・プレゼンテーション準備 |
| 9 | 8/30 (金) | 企画会議③ | ・企画修正 ・プレゼンテーション準備 |
| 10 | 9/2 (月) | 最終成果発表会 | ・最終の企画プレゼンテーション ・最終振り返り ・表彰式 |

実習の様子



課題4 グローバル化に対応できる学生や教職員を目指すための機会の提供

| | 会議 | 行事 |
|-----|--|--|
| 6月 | 第1回推進委員会(13日) ・委員長、副委員長の選出について ・日台高等教育国際会議について ・学生英語プレゼンテーション具体案の検討 ・グローバル人材育成事業について | G人材育成講座(基礎編)(1~2日) G人材育成講座(実践編・国際協力) (10~12日) G人材育成講座(実践編・経済活動) (15、16、22日) 第1回プレゼンテーション企画学生MTG (22日)※以降6回開催 学生英語プレゼンテーション発表学生募集 (7月12日まで) |
| 7月 | 第1回部会(25日) ・2019年度事業について ・中期計画について ・大阪府内地域連携PFの動向について ・部会設置要綱の確認 | |
| 10月 | 第2回推進委員会(7日) ・大阪台北高等教育会議について ・学生英語プレゼンテーションについて ・グローバル人材育成事業について | 上海教育国際交流協会会長より表敬訪問 (18日) 大阪台北高等教育会議2019 (24、25日) |
| 11月 | | 大阪の企業見学ツアー(20、22日) 第6回日中教育交流会(27日) ※ブース出展 |
| 12月 | | 学生英語プレゼンテーションコンテスト (14、15日) |
| 1月 | 第2回部会(14日) ・2019年度事業報告 ・中期計画について ・次年度の方向性について | |
| 3月 | 第3回推進委員会(5日)※書面会議 ・2019年度事業報告 ・次年度事業の検討 | |

(取組1) <他国・他地域との交流>

【大阪台北高等教育会議2019】

事業概要・実施状況：https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/intl_tw/education/

- ・台湾財団法人高等教育国際合作基金会との協力協定の一環として、日台双方における高等教育の情報交換や連携の強化を目的に高等教育会議を隔年で開催し、今回は「優秀な留学生を呼び込むには～大学のダイバーシティの観点から～」をメインテーマに、多様化する学生の対応や優秀な留学生の獲得の方策について両国の事例を踏まえ討議した。
- ・基調講演には大阪府府民文化部を迎え、「高度外国人材の大阪定着を目指した取り組み」について発表があった。また学長サミットとして「優秀な留学生を呼び込むには(戦略的な観点から)」「多様な学生の受け入れ」をテーマに意見交換を行い、続いて現場の教職員によるパネルディスカッションを行った。
- ・当日の参加者は79名(内訳：大学教職員24名、大学生14名〔うち留学生13名〕台湾財団法人高等教育国際合作基金会17名、その他24名)。
- ・次年度以降は、教職員や学生を中心としたプログラムを推進委員会にて検討することとしている。

(取組2) <グローバル人材育成事業>

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/global/old/>

【グローバル人材育成講座】

- ・2019年6月に「グローバル人材育成講座（基礎編・実践編）」を開講した。本事業は、講師派遣等で関西経済連合会、太平洋人材交流センター（PREX）に加え、新たに大阪府政策企画部の協力を得て実施した。
- ・今年度は「SDGs」をテーマに、経済活動と国際協力の観点からワークショップを通じて「グローバル人材」としての必要な資質について学ぶものとした。
- ・国内学生・留学生の国際交流イベントとして今年度は「大阪の企業見学」に特化し、阪神地区大学国際化推進ネットワーク（大阪大学・関西大学・関西学院大学）と共催で、11月に関西経済連合会の会員2企業の見学を実施した。

≪実績≫ ※各講座 定員20名、「留」は留学生数

| | | 2018年度 | 2019年度 | 前年比 |
|----------------|-------|---------------------------|----------------------------------|----------|
| 講座(基礎編) | 参加学生数 | 17 | 27 | +10 |
| | 参加大学数 | 7 | 6 | -1 |
| 講座(実践編) | 参加学生数 | 国際協力 32 経済活動 16 (うち留1) | 国際協力 35 (うち留2) 経済活動 15 (うち留1) | +3 -1 |
| | 参加大学数 | 国際協力 7 経済活動 8 | 国際協力 10 経済活動 6 | +3 -2 |
| 企業見学 (イベント) | 参加学生数 | 19 (うち留10) | 10 (うち留10) | -9 |
| | 参加大学数 | 4 | 6 | +2 |

【学生英語プレゼンテーションコンテスト】

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/global/presentation/>

- ・新規事業として、高い国際意識やコミュニケーションスキルを持つ若者の育成に寄与するため、「大阪の国際化」をテーマに学生の英語によるプレゼンテーションコンテストを12月14・15日に開催した。
- ・この企画には有志学生（5名）が運営メンバーとして参画し、両日の企画と運営に携わった。
- ・10大学18チーム（54名〔うち留学生9名〕）の学生がプレワークショップやコンテストに参加し、学生同士がともに学び、交流を深める機会とすることができた。



コンテストの様子

課題5 学生主体の地域連携促進による大阪の活性化

| | 会議 | 行事 |
|-----|--|--------------------------------------|
| 5月 | | 第1回学生フォーラム企画学生 MTG (27日) ※以降、順次開催 |
| 7月 | 第1回部会 (31日) ・2019年度事業について ・会員大学へのアンケート調査案 ・全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて ・部会設置要綱の確認 | 学生フォーラム学生発表者募集 (~8月23日まで) |
| 9月 | | 学生フォーラム参加者募集開始 |
| 10月 | | 学生フォーラム (13日) ※台風のため中止→2月に延期開催 |
| 11月 | 第1回推進委員会 (8日) ・学生フォーラムの取り扱いについて ・大阪中学生サマー・セミナーの取り扱いについて ・地域連携情報交換会の開催について ・中期計画の進捗について ・2020年度事業の方向性について ・部会設置要綱内規について | |
| 12月 | | 地域連携情報交換会 (大阪市エリア) (6日) |
| 1月 | 第2回部会 (27日) ・2019年度事業報告 ・中期計画について ・次年度事業について ・部会設置要綱案について | 2020年度大阪中高生サマー・セミナー実施に向けて準備・調整 |
| 2月 | | 学生フォーラム (11日) |

(取組1) <地方自治体からの受託事業>

- ・大阪市内の各区企画担当者にプラットフォームのPRを兼ねて、情報提供や意見交換を行った。
(福島区、西区、港区、住吉区、淀川区の5件)
- ・ホームページを改訂し、学生フォーラムを中心とした情報発信を行った。

(取組2) <地域連携事業>

【地域連携 学生フォーラム in 大阪 2019】

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/gakusei-frm/ichiran/>

- ・学生が地域と関わりながら取り組む研究活動や事業実施の内容について、学生（プラットフォーム形成大学からの公募）による発表交流会を開催しており、6回目を迎える今回は大阪学院大学の協力を得て2月に開催した。
(当初10月に大阪工業大学梅田キャンパスでの開催を予定していたが、台風の接近に伴い中止となった。)
- ・当日は7大学7事業の発表が行われ、発表者、参加者、有志の運営学生等合わせて14大学76名が参加した。
- ・今回の企画・運営には有志学生(7大学21名)がボランティアとして参画し、準備を進めた。



学生による作成チラシ



学生フォーラム終了後の記念撮影

【地域連携 情報交換会】

- ・今年度より大学と自治体の地域連携担当者の意見交換を目的とした「地域連携 情報交換会」を再開し、エリアごとに順次実施する予定としている。
- ・12月に開催した「大阪市エリア」の情報交換会では、大学からの地域連携の事例紹介やそれぞれで課題と感じる点について触れ、意見交換を行った。
- ・まずは顔合わせや意見交換の場を提供することを目的に開催し、それぞれの課題やニーズを聴取しながら実質的な連携に繋がるよう中間的な支援を行っていく予定である。

【大阪中高生サマー・セミナー（2020年度より再開）】

- ・大阪府下の中学校に在籍する生徒を対象に、大学の学びを知る機会として「大阪中学生サマー・セミナー」を2017年まで継続実施していたが、共催の南大阪地域大学コンソーシアムとの協議等を踏まえ、2018年度以降は中止となっていた。
- ・以降、継続如何について検討を重ねてきたが、2020年度よりその趣旨を改め、大学とその学びに興味・関心のある中高生を対象として再開することが決定した。

課題6 学生ボランティア事業の充実

(取組1) <国際イベントへの学生参加の検討>

【G20 サミットへの学生ボランティア派遣】

- ・自治体や産業界との具体的な連携策の検討を手始めとして、2019年G20サミット大阪開催に向けて、大阪府と学生ボランティア派遣について協議を行い、プラットフォーム形成大学への募集周知に協力した。
- ・結果、プラットフォーム形成大学からのボランティア参加学生として11大学29名が参加し、学生には大阪で開催される国を挙げての催しへの参加といった貴重な機会を提供することができた。

【大阪・関西万博等】

- ・大阪国際万博協会にヒアリングを行い、万博までの準備期間の中で学生が参画できるような様々な取組について検討を進めている。
- ・プラットフォーム形成大学に対し、学生ボランティアの取組状況について調査を実施した。(2019年8月～10月)

【その他】

- ・プラットフォーム形成大学に対してアカデミックインパクト参加への働きかけを行った。(2020年2月現在、73大学のうち13大学が参加。※従来からの参加大学を含む。)

(取組2) <観光・集客にかかる学生参加の検討>

- ・大阪市城東区役所(保健福祉課子育て教育担当)より、区内小学校のボランティアや臨時教員の募集広報に関する連携希望があり、意見交換を行った。
- ・プラットフォーム形成大学に対して観光・集客にかかる学生参加の取組状況について調査を実施した(2019年8月～10月)。

課題7 社会との多様な接点の創出によるアクティブ・ラーニングの充実

(取組1) <学生による企画・運営事業の創出>

【AI 講座の開催】

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/platform/>

(2019年度特別講座「AIでどうなる？私たちの将来」を参照)

- ・プラットフォーム形成大学に対しAI教育の取組状況について調査、またアクティブ・ラーニングの一環として、プラットフォーム主催のAI教育プログラムの開発にあたり大阪産業局にヒアリングを実施し、2月に特別講座として試行した。
- ・技術的な内容とは異なり、「AIリテラシー」をテーマに今後の生活においてAIとどのように共存し、どう活用するべきかについて学ぶ内容とした。
- ・大学のニーズから、まずAIについての教職員の理解を促す機会を求める声が多いことから、本講座を大学教職員にも開放した。

《実績》 参加者数：学生8大学20名(院生含む)、大学教職員6大学6名 計26名



AI 講座 受講生募集チラシ



AI 講座 授業の様子

(取組 2) <学生による成果発表の場の創出>

- ・産官学連携による学生向けプログラムを検討すべく、大阪産業局へのヒアリングとプラットフォーム形成大学に対して産官学連携にかかる取組について基礎調査を行った。

課題 8 内なる国際化の推進

(取組 1) <留学生の環境整備>

【留学生支援にかかる情報共有（公的住宅活用の事例共有）】

- ・留学生寮の確保に苦慮している大学が多いことを受けて、プラットフォーム形成大学に留学生の居住についてのアンケートを実施した。
- ・2019年5月の大学コンソーシアム大阪総会時にその調査結果の共有と大阪市立大学で行われている「公的住宅の活用と地域のコミュニティづくり」に関する先行事例がプラットフォーム形成大学に紹介された。
- ・2019年12月14・15日に国内学生・留学生による学生英語プレゼンテーションコンテストを実施した。
※課題4取組2と同じ。

課題9 SD研修の更なる充実

| | 会議 | 行事 |
|-----|---|------------------------------|
| 5月 | 第1回推進委員会（16日） ・部会設置要綱の確認 ・2019年度事業について | |
| 7月 | 第2回推進委員会（4日） ・「初任者研修」について ・今後のスケジュールについて ・会員大学へのニーズ調査について 第1回部会（24日） ・2019年度事業について ・中期計画について ・大阪府内地域連携PFの動向について ・部会設置要綱について | |
| 9月 | | 《サロン》 ・第1回（25日） |
| 10月 | 第3回推進委員会（9日） ・2019年度事業について ・今後のスケジュールについて ・推進委員会 設置内規について | 《研修》 ・初任者研修（2日） |
| 11月 | | 《サロン》 ・第2回（14日） |
| 12月 | 第4回推進委員会（4日） ・2019年度の事業について ・次年度のスケジュールについて ・中期計画について 第2回部会（10日） ・2019年度 事業報告 ・中期計画について ・次年度の事業計画について | 《サロン》 ・第3回（13日） |
| 2月 | 第5回推進委員会（27日）※ 書面会議 ・2019年度 事業報告 ・次年度の事業について | 《研修》 ・キャリア形成入門（14日） |
| 3月 | | 《サロン》 ・第4回（4日）※ 中止 |

※昨年度は部会設立の初年度であったため、スタートアップとしてSDコーディネーターを配置し事業を推進したが、今年度より推進委員が中心となって企画・立案を行い、各研修やサロンを実施している。

（取組1）＜SD研修の戦略的な実施＞

【各種研修】

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/sd/old/>

- ・今年度は初任者研修の継続実施に加え、従来の「SD講師養成研修プログラム」の内容を見直し、入職5年～15年の職員を対象に、スタッフポートフォリオやメンタリングの活用をテーマとした「キャリア形成入門」として2020年2月14日に実施した。

《実績》

| | |
|-----------------|--------------------------------|
| 初任者研修（10月2日） | 23大学45名（うちプラットフォーム形成大学外 3大学3名） |
| キャリア形成入門（2月14日） | 8大学13名 |

【Salon De 大学コンソーシアム大阪（SD 勉強会）】

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/sd/salon/>

- ・サロンは昨年に新規事業として発足し、認知度向上のために様々なテーマで年間8回開催したが、今年度は1回あたりの参加者数増を目指し、「LGBT」や「大学経営」、「若者のSNS事情」など大学における喫緊の課題をテーマに取り上げ、4回実施予定としていた。
- ・しかし、第4回サロン（2020年3月4日開催分）については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、開催を次年度に延期することが決定した。

《実績》

| | |
|-----------------|--|
| 第1回 (9月25日) | 「SOGI（性的指向・性別自認）の多様性をめぐる国内外の動向と学生支援」 20大学35名（うちプラットフォーム形成大学外 5大学5名） |
| 第2回 (11月14日) | 「企業と大学の違いに見る、大学運営の諸課題と展望」 33大学・団体54名（うちプラットフォーム形成大学外 11大学・団体12名） |
| 第3回 (12月13日) | 「【勉強会】若者のSNS事情について知る」 16大学30名（うちプラットフォーム形成大学外 1大学1名） |
| 第4回 (3月4日) | 「職員組織の未来を考える～真の働き方改革～」 ※中止 |



サロン（SD 勉強会）チラシ



キャリア形成支援研修の様子

課題 10 その他

| | 会議 | 行事 |
|-----|---|--|
| 6月 | | 第1回公開講座(1日) 於：関西大学梅田キャンパス 《テーマ》 大阪府内地域連携プラットフォームの 紹介と今後の展望 ～2025 大阪・関西万博開催決定！ 産官学連携の可能性～ |
| 7月 | タイプ3説明会(5日) ※兼 第1回 分科会1会議 ・分科会の目的の確認 ・2018年度の振り返り ・2019年度タイプ3の概要説明 第2回 分科会1会議(31日) ・「分科会1」の役割及び位置づけについて ・タイプ3の申請に向けて ・産官学連携の具体的な取組について | |
| 8月 | 第3回 分科会1会議(30日) ・タイプ3の申請に向けて ・産官学連携の具体的な取組について | |
| 9月 | 第2回 協議会(9日) ・分科会1の位置づけについて ・2019年度事業の進捗について ・プラットフォーム中期計画にかかる中間点検について 第4回 分科会1会議(20日) ・産官学連携の具体的な取組について ・令和元年度 私立大学等改革総合支援事業(タイプ3)の申請に向けて 第3回 協議会(27日) ・大阪府内地域連携プラットフォームの活動にかかるアウトカム指標の設定について ・大阪府内地域連携プラットフォーム防災計画案について | 第2回公開講座(20日) 於：キャンパスポート大阪 《テーマ》 大阪から推進する ～産官学の視点で考える SDGs～ SD研修(20日) 於：キャンパスポート大阪 《テーマ》 大学における SDGs の取り組み方を考える |
| 10月 | 第5回 分科会1会議(11日) ・産官学連携の具体的な取組について ・プラットフォーム協議会及び理事会の審議結果について ・令和元年度 私立大学等改革総合支援事業(タイプ3)の申請に向けて | |
| 2月 | 第6回 分科会1会議(21日) ・タイプ3の選定結果について ・PF協議会への報告事項について ・中期計画における今年度の各取組の結果について ・その他(学術分野マップの更新、会員大学間の取組の整理 等) | 活動報告会(21日) ※中止 於：キャンパスポート大阪 |

【分科会 1 の設置】

- ・2019 年 5 月に開催した大学コンソーシアム大阪の総会において、今年度も私立大学等改革総合支援事業（タイプ 3・プラットフォーム型）に申請することが全会一致で承認された。
- ・これを受けて、大阪府内地域連携プラットフォーム協議会のもとにタイプ 3 申請にかかる検討等を行う「分科会 1」を設置して取組を進めた。

【公開講座等の開催】

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/platform/>（2019 年度公開講座の項目を参照）

- ・大阪・関西万博のテーマでもある「SDGs」に関連して、上記のスケジュールのとおり 2 回の公開講座、また SD 研修を開催した。

【活動報告会の開催】

- ・プラットフォーム設立から約 1 年半が経過したことを受け、2020 年 2 月に活動報告会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、開催を延期することが決定した。

《実績》

| | 公開講座 | | SD 研修 | 活動報告会 |
|--------|------------|-------------|-----------------|----------|
| 回数・開催日 | 第 1 回(6/1) | 第 2 回(9/20) | 第 1 回 (9/20) | (2/21) |
| 参加者数 | 98 | 40 | 35 | 中止（延期予定） |

【OSAKA 障がい学生支援ネットワーク及び大阪府福祉部・商工労働部との連携】

「OSAKA 障がい学生支援ネットワーク研修会」の開催

- 第 1 回「大学における障がい学生の修学支援の現状」（6 月 21 日）
 - 第 2 回「高校から大学へのスムーズなトランジション（移行）」（8 月 19 日）
 - 第 3 回「大学における特別ニーズのある学生の就労支援」（10 月 29 日）
- ・連携内容：共催として、会場提供、企画支援及び広報協力（事務局）

【就活・働くことに不安のある学生支援に関する検討会の開催】

- ・大阪府との協働により「発達障がいグレーゾーンの学生に対する就労支援」にかかる検討会を開催した。
- ・この取組は、現分科会 1 の前身だった「事務局代表者会議（2018 年度）」において、大阪府から大学に対して協働による課題解決の呼びかけがあったことが発端となっている。

【日本インターンシップ学会関西支部との連携】

- ・「第 14 回研究会プログラム」の共催者として下記のような内容で開催した。
 - ・「中小企業とインターンシップ」を題し、日本政策金融公庫総合研究所や学術・文化・産業ネットワーク多摩の事例紹介などを通じた意見交換
- ・連携内容：共催として会場提供及び広報協力